





編集室

平成と令和をまたいでの大型

してからになるだろう。

連休も、当編集子は平常どおに長年発行されてきた本紙を引は当分続きそうだ。 り、取材と原稿執筆に追われる き継ぐにあたり、この2カ月間 毎日。個人的に去りゆく時代を は体制刷新(組織の法人化)と紙 顧たり、新たな時代の計を案じ 面のリニューアル、連動するW

行で取り組んできたが、いずれ げてなすべきは、老若男女、レ

の方々と面会して意見交換をすを担うことはできないが、連携 たりするのは、今号が無事校了 ebサイトの開設準備に同時進 確に見えてきた。いま業界を挙 用してほしいと思う。

創業者個人の信用のみを担保 もまだ道半ば。試行錯誤の日々 ジャー志向か競技志向かを問わ ず、ボウラー開発に全力を注ぐ ただこの間、業界内外の多く こと。専門紙が単体でその役割 るなかで、目指すべき道筋は明(やサポートなら可能。大いに利

次号予告

NHK杯第53回全日本選抜選手権 第7回グリコセブンティーンアイス杯 他

編集・発行 株式会社 B.J プラネット・ボウリング ジャーナル編集室 〒181-0013 東京都三鷹市下連雀 4-11-4 コート三鷹 201 TEL/FAX0422-57-8196